

贈呈理由 沖縄県内の学校施設を中心に、蓄熱システムの普及拡大に貢献



うるま市立田場小学校

株式会社二基設計は1971年に沖縄県うるま市で設立され、以来40年以上の長きにわたって沖縄県の建築・設備設計に貢献してきた。同社は社会に貢献する建築設計コンサルタントとして「さまざまなニーズに対応した技術力の提供を行い、次世代の沖縄を考える」とする理念に基づき、沖縄県の将来像を常に意識しながら県内の文化施設、公共施設などを中心に設計を行っている。

適正な学校環境の維持に、空調が大きな役割

同社が設備設計を手掛けたうるま市立田場小学校は、立地するうるま市田場地区が戦後沖縄の教育発祥の地であり、沖縄の教育文化の中心地として発展してきたという歴史をもっている。教育目標に「知・徳・体」を掲げ、正しい判断力とたくましい実践力を身に付けた心身ともに健やかな人間の育成を目指している。

46年創立の同校では、既に数度にわたる改築・増築を行っており、2012年にも老朽化した校舎の改修を行った。

亜熱帯地方にある沖縄県では年間を通じて気温が高く、子どもたちの学習・生活環境を適正に維持するうえで、空調、とりわけ冷房が大きな役割を果たしている。この改修にあたって同社が設計を担当、導入されたのが蓄熱式空調システムである。

次代の子どもたちに、省エネや環境意識を育む

導入に際し空調システムの検討が行われた。他熱源の空調システムと比較して、子どもたちのいない夜間時間帯に電力負荷を移行することができる蓄熱式空調システムは、最大電力の抑制に貢献しランニングコストの低減を実現することが評価され、導入の決め手となった。また「次世代の沖縄」を担う子どもたちを、高い省エネルギー性や環境性の中で育むことができるのも、蓄熱式空調システムの魅力のひとつとなっている。導入にあたっては沖縄特有の台風対策として、機器のまわりをコンクリート塀で囲うなどの工夫も凝らしている。



エコ・アイス (個別分散)

同社では、ほかにもうるま市立伊波小学校(13年11月竣工予定)などに同システムを導入するなど、沖縄県内への蓄熱式空調システムの普及拡大に貢献している。

うるま市立田場小学校

所在地: 沖縄県うるま市字田場713
 建築設計: アムルデザイン・未来建築設計事務所・二基設計JV
 建築施工: (1工区) 国吉組・丸金建設・栄建設JV、(2工区) マルコウ土建・大洋建設・嶺建設JV
 蓄熱設備設計: (株)二基設計
 蓄熱設備施工: (1工区) 大山設備・ダイゼン空調設備JV (2工区) 前田水道・大嶺設備JV
 延床面積: 5,884㎡
 竣工年: 2012年(更新)

●蓄熱設備概要
 エコ・アイス(個別分散) 22馬力相当×1台 蓄熱槽: 1.68㎡/34馬力相当×1台 蓄熱槽: 1.68㎡/36馬力相当×2台 蓄熱槽: 3.36㎡/38馬力相当×3台 蓄熱槽: 5.04㎡(以上、パナソニック)